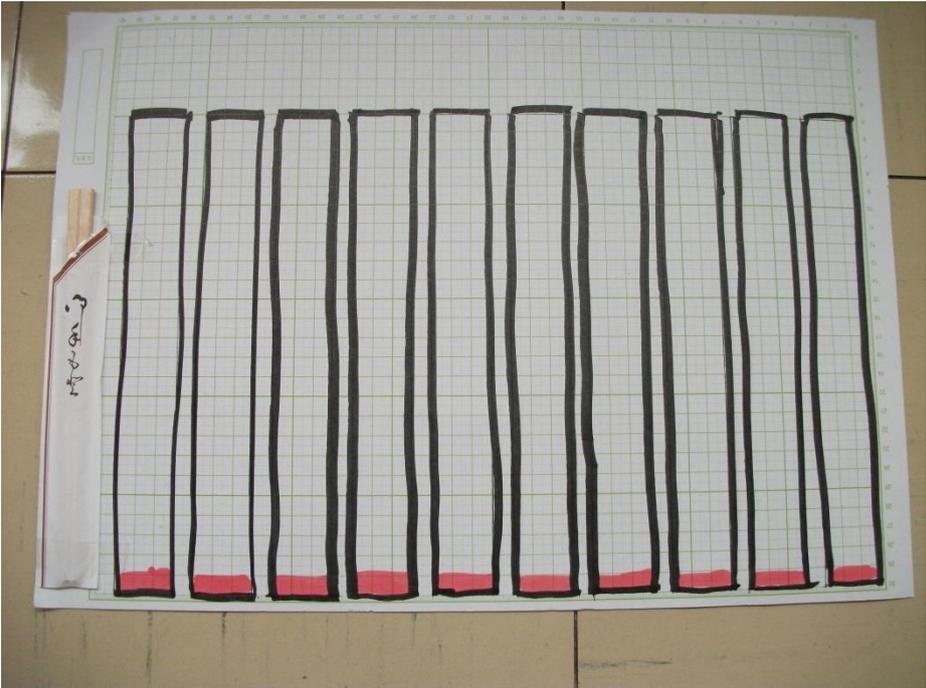


<p>題材名</p>	<p>割りばし10本を並べる台紙</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：I～</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10本が1セットであることを知る。 ・箸の向きを同じに揃えることを知る。
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初は、教員と箸の向き、並べ方、10本1セットを確認した。回数を重ね、徐々に言葉掛けを減らし、一人で取り組める環境を整えた。暑い教室では、作業効率が下がるので、作業に集中できる環境づくりを重視した。 ・台紙づくりでは、個々の実態に応じて変えた。回数を重ねる中で、台紙の改良を行い、使いやすいものに変更した。同じ方向、10本が1セットとなることを繰り返し、練習していった。
<p>備考</p>	

題材名

コップの洗浄方法手順カード

指導対象生徒の太田ステージ：Ⅳ以上

ねらい

・手順カードを見ながら、コップ洗浄の作業に、最初から最後まで自分で取り組めるようにする。

教材

(写真)

コップの洗浄方法	
1	 漂白液 <small>ひょうはくえき</small> の入った水 <small>みづ</small> を捨てる。 素手 <small>すて</small> でさわらないよう注意。
2	 スポンジ <small>すぽんじ</small> に洗剤 <small>せんざい</small> をつけ、水切りカゴ <small>みずきりかご</small> を洗う。
3	 水切りカゴ <small>みずきりかご</small> を拭き、テーブルにセットする。
4	 スポンジでコップ <small>こップ</small> の内側 <small>うちがわ</small> を洗う。 10回
5	 スポンジで、コップ <small>こップ</small> の外側 <small>そとがわ</small> を洗う。 10回
6	 スポンジで、取っ手 <small>とって</small> を洗う。 10回
7	 コップ全体 <small>ぜんたい</small> を、流水 <small>りゅうすい</small> ですすぐ。
8	 コップ全体 <small>ぜんたい</small> の水 <small>みづ</small> を、全て拭き取る。
9	 使った場所 <small>つかったばしょ</small> の水 <small>みづ</small> を拭きとって、チェック <small>チェック</small> を受ける。

指導方法

及び

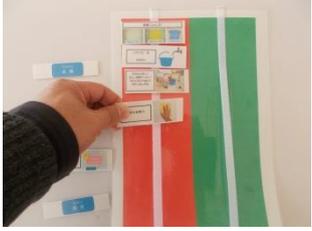
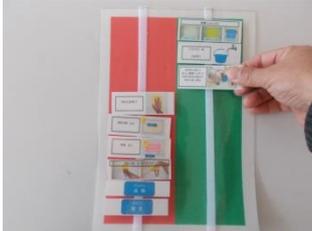
留意点

- ・作業開始の際に、手順カードを渡し、見やすい位置に掲示するよう指示する。
- ・生徒は、手順カードを見ながら作業に取り組む。

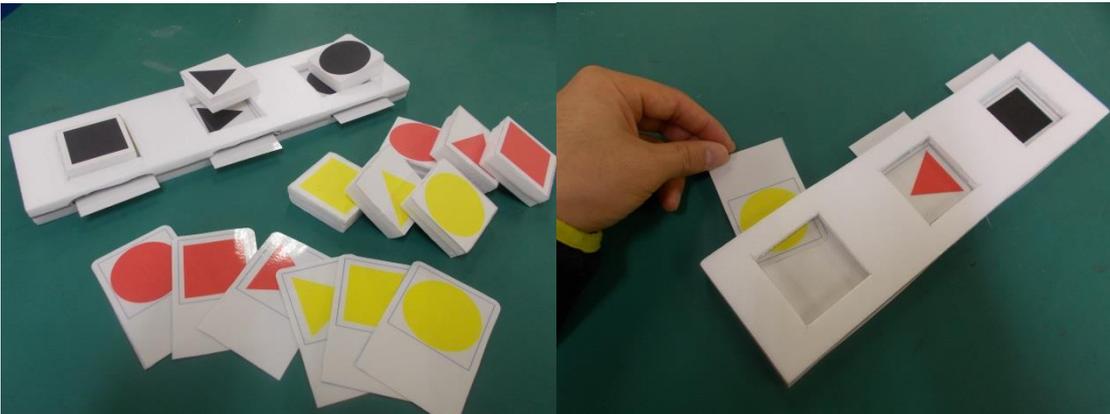
備考

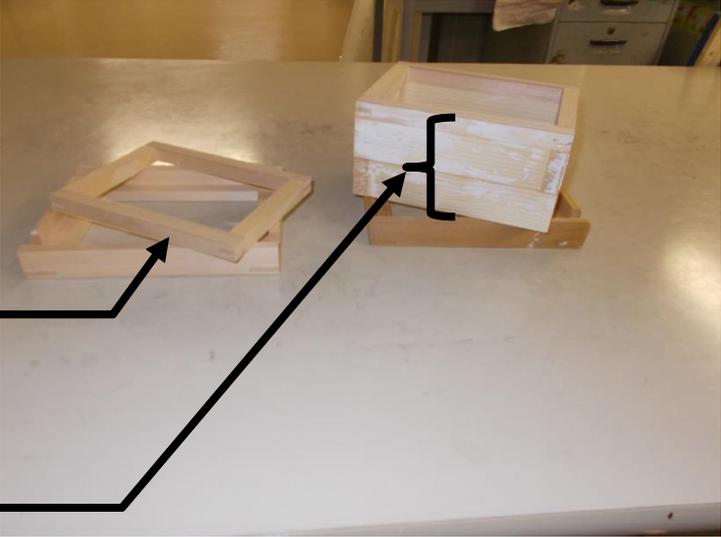
・手順カードは、A4サイズにカラー印刷し、耐水性を持たせるためラミネート加工する。

<p>題材名</p>	<p>学習機のサイドキャビネットの製作</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ－１～</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の授業で使用する学習用具（ファイルなど）を授業の順番に用意し、整理することで、授業に対する見通しと気構えを作る。 ・木製品の製作工程を知り、自らの手で製作することで、各工程の目的や仕上がりを意識し、作業学習や現場実習に準じる実体験を得る。
<p>教材 (写真)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学習機の横に、6時間分の学習用具が入る棚のあるキャビネットを製作した。キャビネットの天板は、そのまま学習機の延長として利用できる。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大きさは、A4 ファイルを基準にし、天板の幅 33 cm、奥行き 35 cm とした。 ・部材のカットはすべて教員が行い、生徒は、木ねじまたはボンドでの組み立てのみの作業とした。生徒の実態によっては、部材のカットもやらせても良いと思う。 ・生徒が費やした時間は6時間である。 ・材料は本校木工室に在庫品としてあったものだけで賅った。本来であれば板材で3面が囲まれた箱型にした方が良い。
<p>備考</p>	

<p>題材名</p>	<p>作業学習（清掃班） 作業手順ボード（テーブル拭き）</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ－1 ～ Ⅲ－2</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の頭の中に漠然と入っているテーブル拭きの作業手順を、ボードの駒を並べることで具体化及び明確化する。 ・作業現場では、駒を左（赤）から右（緑）に動かすことで、正しい手順、終了した工程、まだ終わっていない工程を見える化する。
<p>教材 (写真)</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>①テーブル拭きの清掃（用具準備含む）を始める前に左写真の「作業手順ボード」を用意する。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>②駒は9つの工程を意味する。これを、左側の赤のエリアに上から正しい順序で並べる。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>③すべて並べ終わったら、教員に報告し、正しいか同課のチェックをしてもらう。間違いがあったら、修正する。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>④清掃現場に持っていき、一つの工程が終わるごとに、駒を赤から緑のエリアに移動させる。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>⑤全ての駒が緑のエリアに移動をしたら、作業は完了となる。</p> </div> </div> </div>

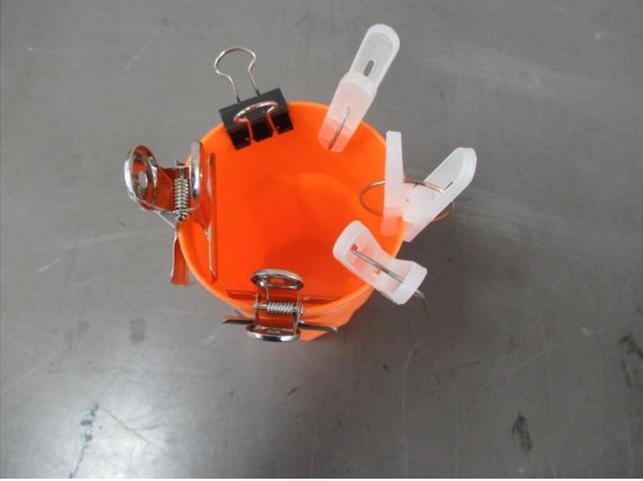
指導方法 及び 留意点	<p>・本教材のポイントは、</p> <ol style="list-style-type: none">① 活動の事前に、作業手順の確認ができる。② 駒はボードから取り外すことをせず、赤と緑に2分したエリアの中で移動をさせることで、終了した工程と、未了の工程が一目でわかる。 <p>という2点である。</p> <p>作業工程が書かれているものに、矢印で、現在の工程を示す方法もあるが、駒を左右に移動させるこの方法の方が、より自分の現在位置が把握しやすく、手順が入りにくい生徒には有効である。</p>
備 考	

<p>題材名</p>	<p>マッチング教材</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅰ～Ⅱ</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色と形に対する意識を深める。 ・穴に示された色、形と同じパーツを、示された場所へ置くことができる。
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて難易度を変更する。 ・カードは、予めセットしておきスムーズに課題に取り組めるようにする。
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチング課題をランダムに行えるように制作した教材である。

<p>題材名</p>	<p>紙すき 紙の厚さを整える</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ-1 以上</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・パルプを流し込んだときの、厚みを均等にするために水の量を通常より多く使い厚さを均等にする。</p>
<p>教材 (写真)</p>	 <p>The photograph shows two wooden frames on a light-colored surface. The frame on the left is a simple square frame. The frame on the right is a similar square frame but with a significantly higher vertical wall on one side. A black arrow points from the text '通常の厚さ' to the left frame, and another black arrow points from '5倍の厚さ' to the right frame. A black bracket is drawn on the right frame to indicate its increased height.</p>
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p>・パルプを流し込み水が抜けるまでに道具には触らないようにする。パルプは、一気に流し込まずに一定のスピードで徐々に入れるように留意する。</p>
<p>備考</p>	<p>・道具を使用した時には、しっかり乾かすことが必要。保管方法により道具を痛めてしまうので注意が必要。</p>

<p>題材名</p>	<p>手首の使い方を学ぶ</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：I－2</p>	
<p>ねらい</p>	<p>(この教材でのねらい) ・手首を曲げられるようになる。 (最終的なねらい) ・食事の際に手首を上手に使い、少しでもこぼさず食べられるようになる。</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p>・片方のケースから片方のケースにスプーンを使い安全ピンを移す。 <ポイント> ①ケースが小さい。(ケースが大きいと肘、肩を使ってすくうことができてしまい手首は使用しなくてもよくなってしまう) ②安全ピンである。(スプーンに引っかかったり逆に落ちたりと意外と不安定。その不安定さがいろいろと考えたり、いろいろな手の動きを起こしたりと効果が期待できる。) ・最終目標は食事時に般化することであり、教材をできるようになることではないので移すことが「できた」「できない」の結果より、手首を使っているかいないかの行動を評価する。</p>
<p>備考</p>	

<p>題材名</p>	<p>水の嵩を比べよう</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：Ⅲ～</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・リットルとミリリットルの違いを知り、視覚的に分かるようにする。</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p>①枠の中に1リットルのボードを入れて貼る。 ②「1リットルと3ミリリットルはどちらが多いか」などの問題を提示する。 ③1リットルのボードを外し、1ミリリットルのボードを枠の中にはめ込んでいく。 ④視覚的にどちらが多いかを見比べる。</p>
<p>備考</p>	

<p>題材名</p>	<p>洗濯バサミ等止める教材</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：I－2</p>	
<p>ねらい</p>	<p>・「困った」「助けて欲しい」のサインを出す。 ※はさむことは一切目標にしていない。むしろはさめない方が教材のねらいは達成できる。ただ全部できないと嫌いになってしまうので、できる課題を入れておく。それで、3種類のクリップを用意している。</p>
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<p>・ただはさむだけ。洗濯バサミ→銀のクリップ→黒のクリップの順番ではさむように生徒に指示する。洗濯バサミは簡単にはさめる。銀のクリップから苦戦し始め、その様子をじっと見ていると生徒から「先生」、「困った」のサインを出してくる。そしたら、言語化し、手を取り一緒にはさんであげる。で、「困っていることを伝えられたね」とほめてあげる。</p>
<p>備考</p>	<p>・大事なことはクリップをはさむことでなく、“できないので助けて欲しい”と訴えられること。訴えた時の言語化、フィードバックを確実に、丁寧にそして最大限ほめてあげることが重要。 ・クリップにしているのは、対象生徒がこの教材なら簡単作業でわかりやすく、一定の達成感を味わえる。しかし、指の力が弱く、難しさもあるので、必ず困ることも想定できるからである。</p>

<p>題材名</p>	<p>目じるし スタンプ</p>
<p>指導対象生徒の太田ステージ：I - 2</p>	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンプを押す場所を明確にすることで、活動に見通しをもたせ、意欲を高める。
<p>教材 (写真)</p>	
<p>指導方法 及び 留意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタンプは続けて4箇所を押すので、インク台にはしっかりとインク含ませておく方が良い。枠に対し押す順番を決めて指導することで、スムーズにリズムよく押せるようになる。
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スチレンボードで作成。スタンプを押す感触に対して適度な反発があり適当な素材である。